

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）（令和２年度補正予算措置分）の実施方針

令和２年５月７日
ガバニングボード決定

「科学技術イノベーション創造推進費に関する基本方針」（平成 26 年 5 月 23 日 総合科学技術・イノベーション会議決定）に基づき、令和 2 年度補正予算で措置された「治療薬・ワクチンの開発に資するデータ連携基盤の構築」及び「人工知能アバターを利用した新型コロナウイルス感染症の相談補助システムの開発」を実施する対象課題、プログラムディレクター、研究開発計画の基本的事項及び対象課題ごとの配分額を次のとおり定める。

配分額：7 億円※

対象課題	プログラムディレクター	研究開発計画の基本的事項	配分額 (億円)
AI ホスピタルによる高度診療・治療システム	中村 祐輔 公益財団法人がん研究会 がん プレシジョン医療研究センター 所長	人工知能アバターを利用した新型コロナウイルス感染症の相談補助システムの開発と、治療薬・ワクチンの開発に資するデータ連携基盤の構築を進める。	7.0※

※ 実際の配分額は 696,724 千円。表記上、百万円単位を四捨五入した額を記載。